令和７年度　香住丘高校

Vol.28

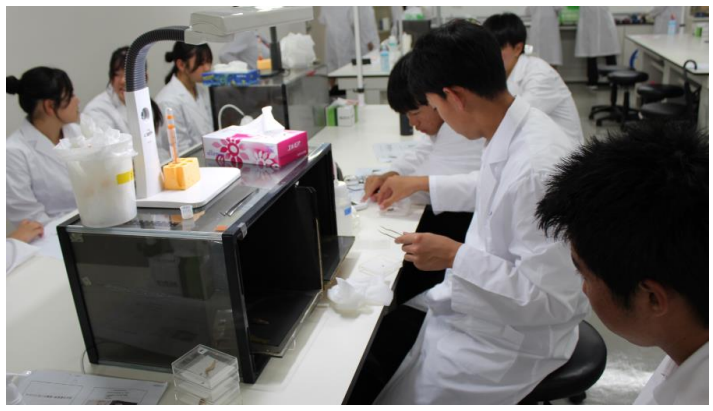
７月の数コミ日記

１年　環境科学研究講座①

６月 13 日（金）と６月 20 日（金）に、福岡女子大学国際文理学部環境科学科において、数コミ１年生が施設見学や実習を行いました。

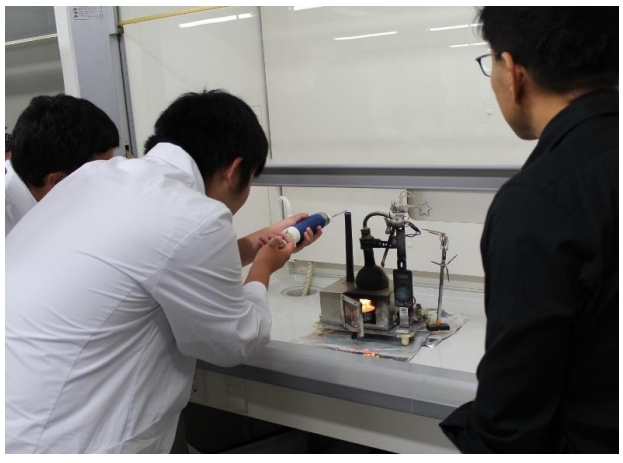
【生物】ナメクジの学習行動実験　　松尾亮太　教授

　最初にナメクジの脳摘出の様子を観察した後、にんじんジュースの匂いを嫌いにさせる、という「条件付け」操作を体験しました。条件付けされたナメクジと、条件づけ操作を受けていないナメクジが混ざった個体集団に対して、にんじんジュースを用いた記憶保持テストを行い、どれが条件づけ操作を受けたナメクジであるかの推定を行いました。ナメクジの学習行動を確認することで、身近な生物への理解を深めました。



【化学】実験で分かる PM2.5 の実態　　馬昌珍 教授

　大気汚染物質である PM2.5 について、その発生源、健康被害や地球温暖化に与える影響等の講義を受けた後、研究室で開発した複合型発電装置を用いた発電実験では化石燃料の燃焼により発生する窒素酸化物の濃度を測定し、発電方法によって大気環境に与える負荷の違いを確認しました。



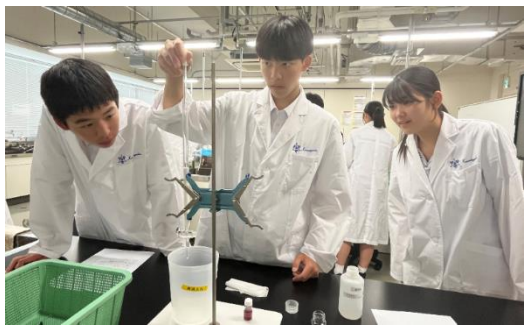
１年 環境科学研究講座②

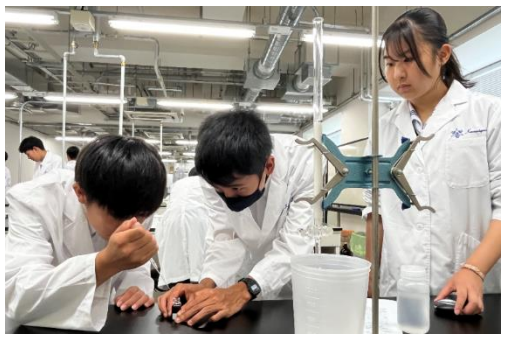
【生物】淡水プランクトンの顕微鏡観察　　瀧下清貴　教授

採取した湖沼の水のサンプルを顕微鏡で観察し、その中に見られる植物プランクトンの種類を調べました。形態的な特徴に基づいて分類・同定を行い、湖沼の生物多様性や生態系の特徴について理解を深めました。環境中に数多く存在する微生物のような目に見えない生物が、生態系の維持や物質循環においてきわめて重要な役割を果たしていることを学びました。

【化学】クロマトグラフィーで色素を分離してみよう　竹本直道　助教

セルロース粉末を詰めたカラムに色素混合物の溶液を流して色素が分離される様子を観察しました。さらにクロマトグラフィーが食品分析、環境測定、残留農薬検査等、様々に活用されていることを学びました。





数コミ集会～香煌祭にむけて～

６月１８日（水）に、数コミ生全員が参加する「数コミ集会」を行いました。２年生を中心に行う香煌祭数コミ企画が、各グループに分かれていよいよ本格始動しました。９月６日(土)の一般公開で今年の「数コミスイッチ」を披露します。多くのご来場をお待ちしております。